【5】補助資料

令和７年度　栗東市公共下水道事業の決算概要及び業務状況

【決算の概要】

●収益的収支（税抜）※決算書 P.1、3、19-21

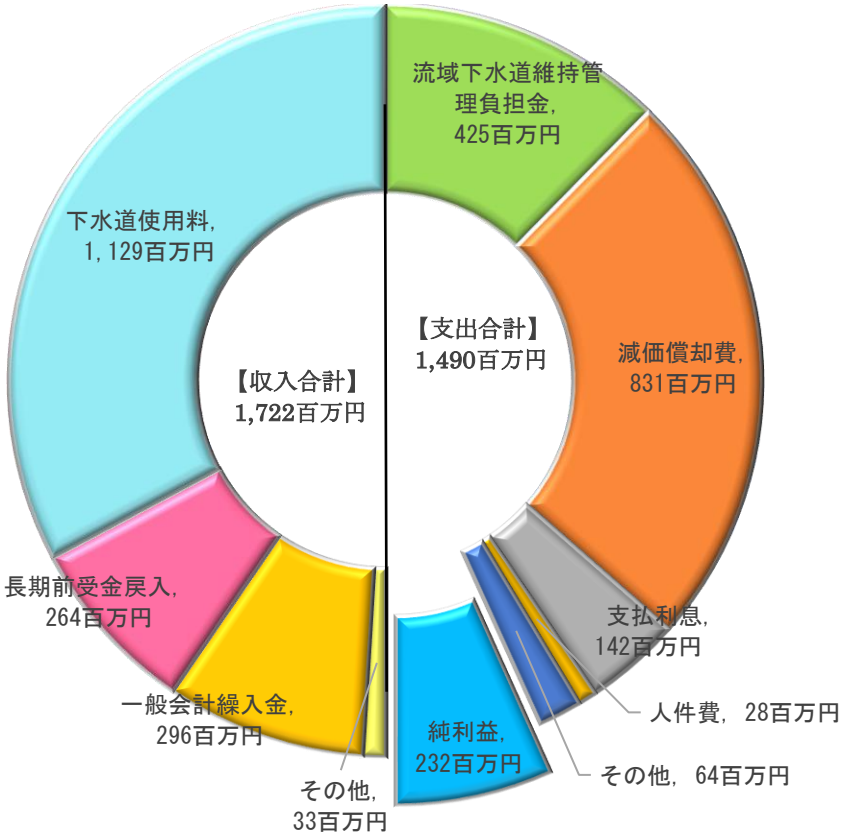
ご家庭や企業から出る汚水や雨水を適切に処理するために必要な経費とその財源です。

令和７年度における収益的収入は１７億２，２１５万７，８３６円で、この内下水道使用料は１１億２，９２２万１，６０８円となりました。なお、一般会計から、雨水処理負担金８，３１７万３，０００円、他会計負担金（操出基準内）６，４５９万２，０００円、他会計補助金（操出基準外）１億４，８４１万９，０００円を繰り入れました。

対する収益的支出は１４億９，００３万５，６８３円となり、主な内訳は、減価償却費８億３，１４２万９，５４５円（５６%）、流域下水道維持管理負担金４億２，５０９万２，４９７円（２８%）であり、これらで約８５%をしめています。その他支出は、人件費２，７９９万１，３０１円、支払利息１億４，２６７万９，６１３円等です。

これらの収支を差し引きした**純利益は２億３，２１２万２，１５３円**となりました。

【前年度比＋２，５１１万９，３９１円】



※流域下水道維持管理負担金

・・・栗東市の汚水管は、全て滋賀県の流域下水道幹線に接続され、滋賀県湖南中部浄化センターで処理されています。この処理にかかる費用を滋賀県に負担金として支払っています。

●資本的収支（税込）※決算書…P. 2、22

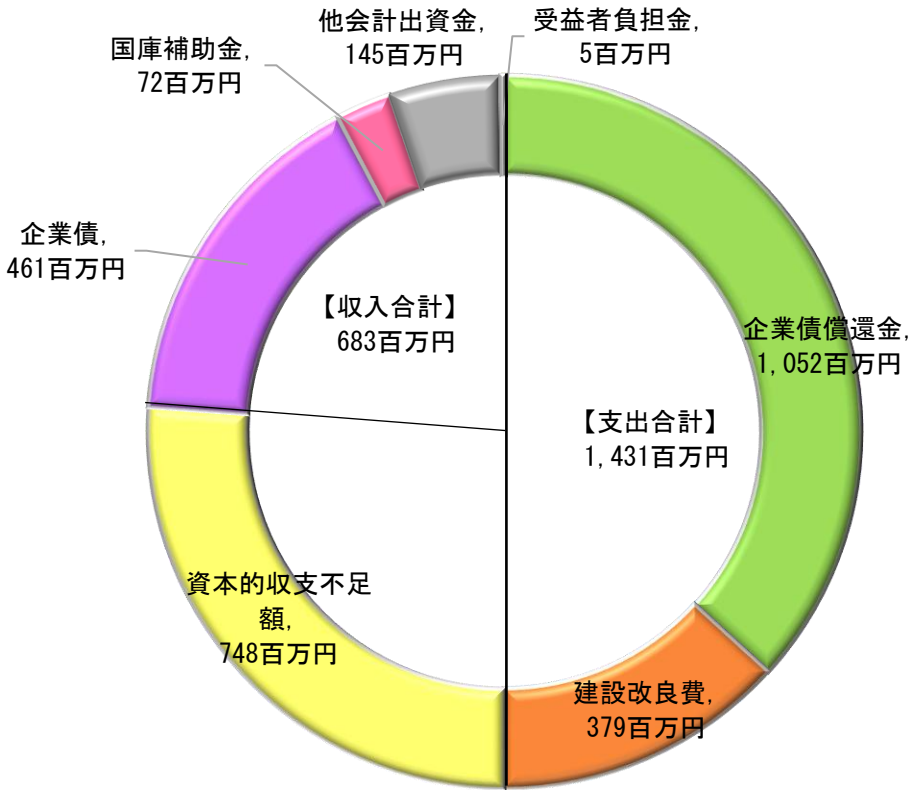
将来にわたって安定的に下水を処理するため、汚水管や雨水管などの下水道施設を整備・改築更新するための経費とその財源です。

令和７年度の資本的収入は６億８，３００万９，２００円で、主な内訳は、企業債（借入金）４億６，０５０万円、国庫補助金７，２１９万２，４００円等で構成されています。なお、一般会計より他会計出資金１億４，５２５万６，０００円を繰り入れました。

資本的支出は１４億３，０９６万１４２円で、内訳は、建設改良費（下水道施設への設備投資）３億７，９０２万８，９２９円、企業債償還金１０億５，１９３万１，２１３円となりました。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額（収入と支出の差）７億４，７９５万９４２円は、内部留保資金等で補填しました。

【前年度比＋３，５９０万８，２９７円】



※資本的収支不足額は、内部留保資金等で補填

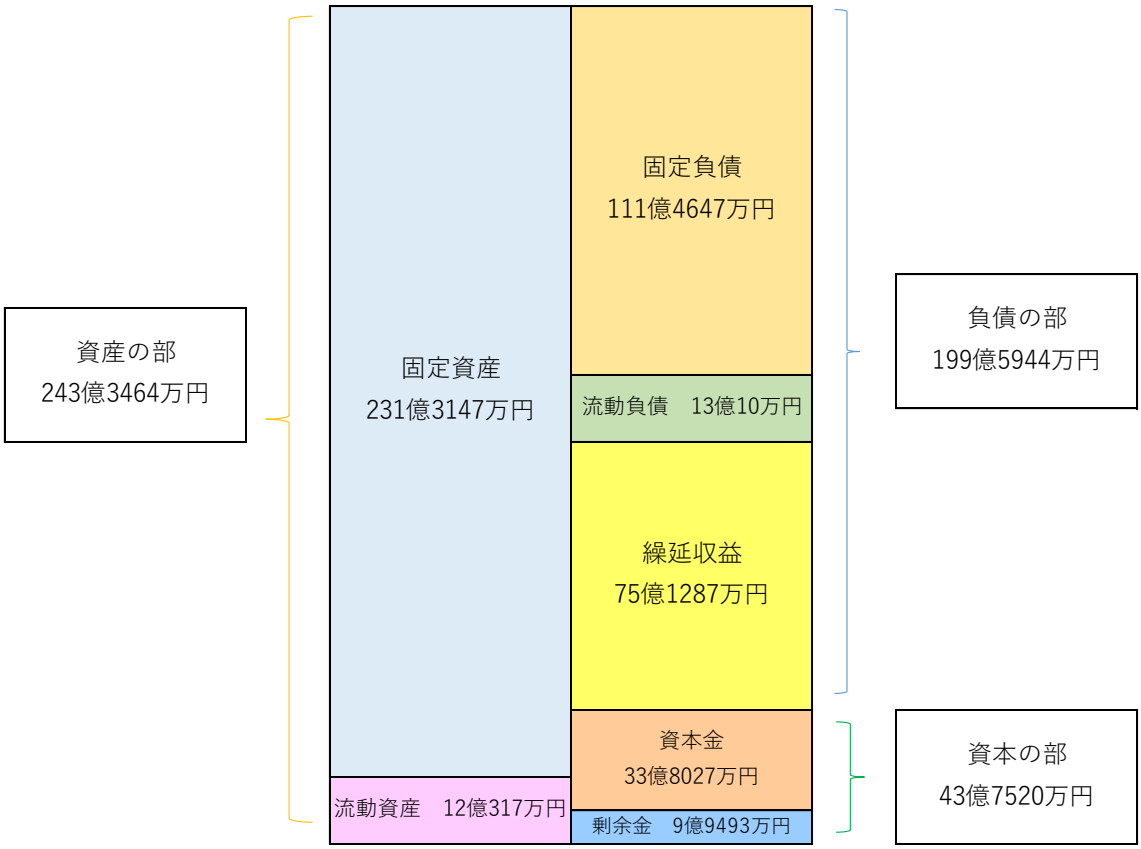
内訳：積立金　１億５，０００万円

損益勘定留保資金　５億７，２０３万７，２８３円

消費税資本的収支調整額　２，５９１万３，６５９円

●貸借対照表　※決算書 P4-5

資本の部２４３億３，４６４万４，０３２円に対し、負債の部１９９億５，９４４万６，３８８円と資本の部４３億７，５１９万７，６４４円の合計２４３億３，４６４万４，０３２円となり、貸借は一致しています。



●剰余金処分計算書…※決算書 P6

令和 7 年 9 月議会にて議会の認定に付し、議決をいただきましたとおり、前年度剰余金処分として、減債積立金から取崩した 1 億 4,000 万円を資本金へ組入れました。

令和 8 年 9 月議会にて議会へ上程いたします、令和 7 年度剰余金処分（案）としましては、減債積立金から取崩した 1 億 5,000 万円を資本金へ組入れ、末処分利益剰余金から 2 億 3,000 万円を減債積立金へ積立てることとしております。

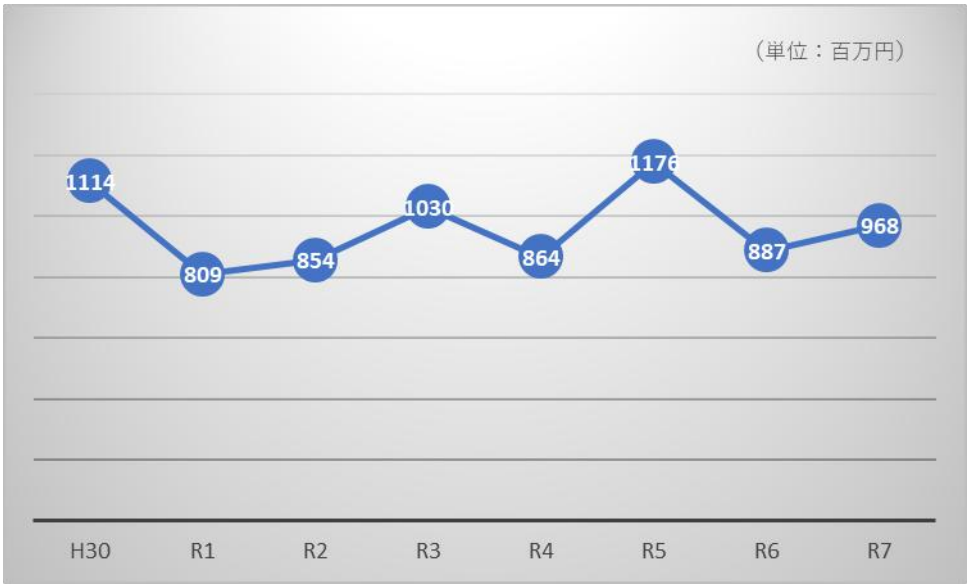
●キャッシュ・フロー計算書　※決算書…P.７

一事業年度の資金（キャッシュ）の増減（フロー）を表わす財務諸表で、「営業活動」「投資活動」「財務活動」の３つの活動区分別に表示されます。

令和７年度における、活動区分ごとのキャッシュ・フローは下記の表のとおりであり、前年度末資金残高と比べ８，０９５万４，３５９円の資金増となりました。

活動区分	令和７年度 （千円）	令和６年度 （千円）
Ⅰ．業務活動による キャッシュ・フロー	８０７，０４３	７４６，６５５
Ⅱ．投資活動による キャッシュ・フロー	△２７９，９１４	△５０３，３１２
Ⅲ．財務活動による キャッシュ・フロー	△４４６，１７５	△５３１，７２８
Ⅳ．資金増減額	８０，９５４	△２８８，３８５
Ⅴ．資金期末残高	９６８，３３６	８８７，３８２

💧資金残高



●事業報告、経営指標及び業務状況　※決算書 P.11-13、16

令和７年度の有収水量は、事業所等による特定排水量が増加したことにより、前年度を上回りました。

事業面では、令和７年度より耐用年数（５０年）を超過する管渠が発生し、今後は老朽化・耐震化対策が重点施策となることから、重要路線の管路施設について調査・診断を実施しました。今後は、これらの調査結果に基づき施設の修繕改築計画を策定し、適切な維持管理に努めます。

経営指標につきましては、経営の健全化を示す「経常収支比率」は 100%以上を維持しており、「経費回収率」も汚水処理費用を下水道使用料で賄えてる状況とされる 100%を上回りました。両数値とも、下水道使用料の増加等により、数値が改善しました。

💧経営指標

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
経常収支比率	１１０．０６％	１１３．７６％	１１５．５８％
経費回収率	９７．５４％	９９．１０％	１０１．８５％
管渠老朽化率	０％	０％	０．０５％

※経常収支比率・・・経営の健全性を示す指標。１００％以上で健全経営とされる。

※経費回収率　・・・料金水準の妥当性を示す指標。１００％以上で事業に汚水処理にかかる経費を下水道使用料で賄えている状況とされる。

※管渠老朽化率・・・耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。

💧業務状況

項　目	令和７年度	令和６年度	増　減
行政区域内人口（人）	７０，１４８	７０，２６６	△１１８
処理区域内人口（人）	７０，０５７	７０，１７４	△１１７
処理区域内水洗化人口（人）	６９，４２６	６９，４６９	△４３
整備済管渠延長（km）	３４４．２	３４２．２	２．０
普及率（%）	９９．９	９９．９	０．０
水洗化率（%）	９９．１	９９．０	０．１
有収水量（m3）	９，１１１，５８９	８，８９９，５７４	２１２，０１５
有収率（%） （年間有収水量÷年間総処理水量）	９３．８	８９．３	４．５

●汚水処理原価と使用料単価（税抜）　※決算書 P. 16

令和７年度は、使用料単価が汚水処理原価を上回り、数値が改善しました。

	汚水処理原価	使用料単価
令和７年度	121 円 68 銭	123 円 93 銭
令和６年度	126 円 64 銭	125 円 51 銭
令和５年度	125 円 74 銭	122 円 65 銭

※汚水処理原価・・・汚水１㎥を処理するのに要した経費。

※使用料単価　・・・使用者の皆様からいただく１㎥あたりの下水使用料の平均単価。

●企業債の状況　※決算書 P. 18

償還額が借入額を上回っており、借入残高は減少傾向です。

